



# さが

第 七 一 号

平成 二 三 年  
西 曆 二 〇 一 一 年  
秋 彼 岸 九 月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一  
TEL 〇七五-六三一-二二七二  
FAX 六三二-五七二五  
E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)



東日本大震災から、はや半年が過ぎました。被災された方々は、まだまだ大きな不安を抱きながら、毎日を手探りで過ごしていることと思います。

去るお盆のときに、震災でお亡くなりになった方々の慰霊をすべく、京都の大文字送り火で、岩手県陸前高田市のマキをたこうという話が出ていました。

ところがみなさまもご存じのとおり、二転三転をへて、残念ながら実現にはいたりませんでした。「大丈夫だ」「いや、中止すべきだ」という正反対の見方が出てきて、見ている私も判断がつかず、放射能の恐ろしさに振り回されてしまったように感じました。



しかしながら、ものごとを決めるときのことをふりかえってみると、これが「一〇〇%正しい」と断言できるときは、もしかすると少ないのではないのでしょうか。これが正しいかどうか、悩みながら迷いながら、ものごとを決めるときの方が多くないかも知れませんね。

みなさまはそういうとき、どういう思いをもって決めてこられたのでしょうか。

また次に、決めなくてはならないことが起きたとき、そのときはどういう思いをもって決めるのでしょうか。

できるならばその思いが、自分自身も、まわりのみんなも、そしてあらゆるものにとっても幸いとなれるようなものでありますように願っております。



## お線香は1本？ 2本？

お参りに行った先でたまに、

「お仏壇にお線香をお供えするときは、1本ですか？  
それとも2本ですか？」

と聞かれるときがあります。

これは、じつは「家庭のお仏壇には、○本が正解」というものはないように思います。宗派によってはきちんと決まっているところがあるかも知れませんが、しかし、曹洞宗の場合はありません。

お香をたくことには、仏さまをたたえる意味と、その場を清める意味とがあります。お線香の良い香りは、その場の雰囲気をはらって変え、気持ちをお仏さまへ向けさせてくれますね。

お線香は1本でも2本でもかまいません。お供えすることがたいせつなのだと思います。

## 行ってきました「子ども禅の集い」

今年は2年にいちどの、大本山永平寺泊まり。

東運寺からは、小学校5年生の男の子が3人参加してくれました。

坐禅のときには、坐蒲（ざぶ）という黒くて丸い座布団を、お尻の下に敷きます。そうすると背筋がピンと伸びるのです。慣れた大きな子も、初めてで緊張している小さな子も、全員そろって坐蒲の上に座るので、見ているとみんな、様になっています。子どもの力はすごいなあと、あらためて感じ入りました。



「子ども禅の集い」は、毎年7月末ころに開催されています。